

# 香川大学 科目ナンバリングについて

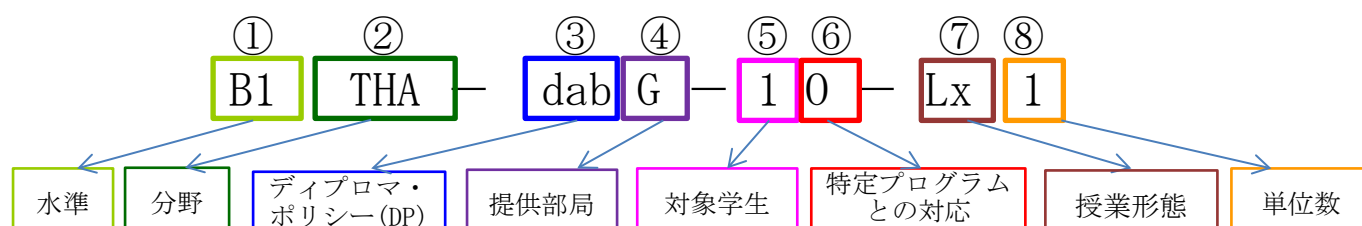
## 1. 科目ナンバリングとは

本学では、平成30年度から「科目ナンバリング」を導入します。科目ナンバリングとは、授業科目に適切な番号を付し、その科目の水準や内容等をコード化することにより教育課程の体系性を明示する仕組みを言います。学生が授業を受けるにあたり、その受講科目がカリキュラムの中でどのような水準でどのような位置付けにあり、そしてどのような能力を身につけるのに役立つ授業なのか等を確認する手助けとなります。

また、近年、大学教育のグローバル化が進む中、留学を通じた単位互換制度等を運用するに当たり、授業科目の内容と水準をコード化し簡潔に示すことにより、これら制度の円滑な運用が期待できます。

## 2. コードの意味（ナンバリング構成要素）

例：全学共通科目「想像力の教室」の場合



### ① 水準（大文字アルファベット1ケタ及び数字1ケタの組み合わせ）

その授業科目が教育課程のどの位置付けにあるものかを示しています。

|            |          |
|------------|----------|
| B：学士課程     | 1：入門科目   |
| M：修士課程（相当） | 2：基礎科目   |
| D：博士課程     | 3：応用科目   |
|            | 4：統合科目   |
|            | 0：その他の科目 |

### ② 分野（大文字アルファベット3ケタ）

その授業科目がどの学問分野であるかを示しています。

[分野コード一覧\(PDF:134KB\)](#)

### ③ ディプロマ・ポリシー（共通教育スタンダード）（アルファベット3ケタ）

ディプロマ・ポリシー（DP）とは、大学の教育理念に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針です。

本学では、学士課程、大学院課程ごとに以下の表に示す項目をディプロマ・ポリシー（全学共通教育においては共通教育スタンダード）の構成要素として設定しています。ナンバリング構成要素の③DP（3ケタ）は、その授業がどのDPの実現に重要な役割をもつか、関連の深いものから3

つを示しています。

| 学士課程のD P（共通教育スタンダード）              |
|-----------------------------------|
| a：言語運用能力（課題解決のための汎用的スキル）          |
| b：知識・理解（広範な人文・社会・自然に関する知識）        |
| c：問題解決・課題探求能力（21世紀社会の諸課題に対する探求能力） |
| d：倫理観・社会的責任（市民としての責任感と倫理観）        |
| e：地域理解（地域に関する関心と理解力）              |
| f：教職に対する使命感 ※教育学部のみD P            |
| x：該当なし                            |

| 大学院課程のD P   |
|-------------|
| A：専門知識・理解   |
| B：研究能力・応用力  |
| C：倫理観・社会的責任 |
| D：グローバルマインド |
| X：該当なし      |

#### ④ 提供部局（大文字アルファベット1ケタ）

その授業科目を開講する学部、研究科等を示しています。

|                   |
|-------------------|
| G：大学教育基盤センター      |
| L：教育学部・教育学研究科     |
| J：法学部・法学研究科       |
| E：経済学部・経済学研究科     |
| M：医学部・医学系研究科      |
| T：創造工学部／工学部・工学研究科 |
| A：農学部・農学研究科       |
| S：地域マネジメント研究科     |
| C：創発科学研究科         |

#### ⑤ 対象学生（数字1ケタ）

その授業科目の対象となる学生を示しています。

|                             |
|-----------------------------|
| 1：全学生                       |
| 2：提供部局に所属する学生のみ             |
| 3：提供部局に所属する学生＋受講を希望する学部学生   |
| 4：提供部局に所属する大学院生＋受講を希望する大学院生 |
| 5：特定プログラムを履修している学生のみ        |
| 6：夜間主コースに所属する学生のみ           |

## ⑥ 特定プログラムとの対応（大文字アルファベット1ケタ）

その授業科目が高度教養教育科目、ネクスト・プログラム関連科目かどうかを示しています。

|  |
|--|
| A：高度教養教育科目（学部提供教養科目）                     |
| N：ネクスト・プログラム関連科目                         |
| M：高度教養教育科目（学部提供教養科目）<br>及びネクスト・プログラム関連科目 |
| 0：対応なし                                   |

## ⑦ 授業形態（大文字アルファベット1ケタ及び小文字アルファベット1ケタの組み合わせ）

その授業科目が主にどのような形態で実施されるかを示しています。

|                           |                       |
|---------------------------|-----------------------|
| L：講義                      | g：グループワーク             |
| E：演習                      | p：PBL                 |
| P：実験・実習                   | f：フィールドワーク            |
| M：講義＋実験・実習（医学科及び医学系研究科のみ） | e：eラーニング              |
|                           | b：ブレンディッドラーニング（反転学習等） |
|                           | x：該当なし                |

### ○PBL

Problem Based Learning や Project Based Learning の略称。前者は、社会で起こりうる現実的な問題をもとに学習し、問題の発見と解決策を検討するプロセスを通じて学ぶ形態。後者は、大卒のテーマに沿って学生が自ら課題や目標を設定し、その解決や実現に向けて自ら計画し、実行する過程から学ぶ形態。

### ○フィールドワーク

教室を出て現地で観察することから学びを得る形態。

### ○eラーニング

eラーニングは、インターネットに接続されたコンピュータを使って電子教材（動画コンテンツを含む）で学習する形態。

### ○ブレンディッドラーニング（反転学習）

eラーニングと対面授業を組み合わせた形態。特に、反転学習はeラーニングによる授業外学修（宿題など）と講義室での学びの内容を逆転させた形態。

## ⑧ 単位数（数字1ケタ）

その授業科目の単位数を示しています。（Mは10単位以上。）